

講演会報告

I. 講演会概要

- ・日時 平成30年1月20日(土)13時30分～15時30分
- ・会場 岡山市立一宮公民館(1F美術工芸室)
- ・演題 「今日だけ教える『ないしょのお話』ホタル再生の苦労話」
- ・講師 難波 貞敏 氏 (21世紀の環境づくりを進める会 理事長、岡山環境カウンセラー協会 前会長)
家守 修治 氏 (21世紀の環境づくりを進める会 理事、株式会社造美園 代表取締役)
福留 正治 氏 (つらレンジャー 会長、岡山環境カウンセラー協会 元会長)
- ・参加者 30名(地域の環境保全活動に関心を持っている人)

II. 講演会要旨



講演会に先立ち川の視察、この川の上流ではホタルが舞っている。ここではカワニナは少ないようだった。ここより下流は三面コンクリートの川になる。



難波前会長からホタル再生の取り組みを始めたキッカケ、行政との対応、地域住民との対話の重要性について様々な苦労話があり、参加者の関心を引いた。



家守さんの講演はビオトープの説明からはじまり、ホタルについての解説、具体的なホタルの飼育法、放流時の留意点、さらにはホタル再生をする場合河川はどうあるべきかについて豊富な経験に基づいたお話があった。



福留元会長からは、公害の街といわれた水島コンビナートの街にホタルを再生することの意義、地域住民や大学院生との連携の大切さ等の話さらにはホタルばかりでなく、鳥獣害対策を含めた「自然との共生」の重要性が訴えられた。

III まとめ

定員25名を超える30名が参加されたので(実際に地域活動に熱心に取り組んでいる人がほとんど)、真剣にメモをとりながら聴いている人が多かった。質疑応答も的を得た質問が多く時間になっても質問が続いたため時間オーバーですと言って次の質問を断らざるを得なかった。

豊富な経験と確かな技術に基づいた失敗談や苦労話は参加者の心を引きつけたようで、この講演会は有意義であったと思われた。